

2016年10月14日更新

2018-19年度国際ロータリー会長にサミュエル・オオリ氏

【国際ロータリーより】

国際ロータリー（R I）会長指名委員会が開かれ、2018-19年度R I会長として、ウガンダのカンパラ・ロータリークラブ所属のサミュエル・オオリ氏が満場一致で指名され、10月1日をもってオオリ氏が会長ノミネーとなりました。

オオリ氏は、ロータリーには「変化をもたらそうとする驚くべき情熱」があるとし、会長として「この情熱と誇りを生かして、すべてのプロジェクトが平和と繁栄の原動力となるようにしたい」と考えています。

ロータリーのリーダーとしてのオオリ氏の一番の関心は、会員増強とクラブ拡大です。ウガンダでは、自身が1987-88年度にガバナーを務めて以来、クラブ数がわずか9クラブから90クラブに拡大しました。もっと多くの女性、青少年プログラムの参加者、学友、地域社会の人々にロータリーに参加してもらい、今後数年間にロータリークラブの会員を増やすために、元リーダー、現リーダー、未来のリーダーの協力が必要だと訴えます。

「ロータリーのない場所、また、入会を誘われたことのない潜在的会員が多く存在する」とオオリ氏。「問題は、ロータリアンが自分が入会した後で、扉を閉ざしてしまうことです」

オオリ氏は **Institute of Corporate Governance of Uganda** のCEO（最高経営責任者）。アフリカ開発銀行、ウガンダ商業銀行、ウガンダ開発銀行の取締役を歴任しています。ハーバードビジネススクールを含むアメリカ、イギリス、日本、スイス、タンザニアの教育機関で、法律、雇用関係、経営、企業資源管理、マイクロファイナンス、マーケティングを学びました。

1978年にロータリー入会。以来、ロータリー財団地域コーディネーター、R I会員組織地域コーディネーター、国連環境計画と国連人間居住計画のR I代表、R I理事、インターナショナル・ポリオプラス委員会委員、薬物乱用防止タスクフォースメンバー、監査委員会委員、ロータリー財団管理委員、ロータリー財団財務委員長、投資委員会委員を歴任しました。ノラ夫人とともにロータリー財団メジャードナーでもあります。